

令和3年度

事業報告説明書

公益財団法人 大阪認知症研究会

事業報告説明書

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

1. 助成事業

○事業内容・趣旨：

- ◇医学研究助成・・・団体及び個人が実施している研究に対して積極的に助成することにより、研究の着実な成果を見だし、認知症の問題・課題の解決を図る。
- ◇海外派遣助成・・・海外の認知症研究者との研究交流をはかることによって、当該分野における研究レベルの向上を企図する。

○応募期間：

令和3年4月1日～同年5月17日（消印有効）

○応募資格：

認知症の研究にあたっている大阪府域の大学、研究所、医療機関、保健施設等に属している者。但し、弊財団で前年度に助成を受けられた方は応募不可。

○助成対象研究：

- (a) 認知症疾患の臨床的研究
- (b) 認知症疾患の発症危険因子に関する研究
- (c) 認知症疾患の病因に関する研究
- (d) 認知症疾患の病態に関する研究
- (e) 認知症疾患の方の介護、看護技術に関する研究
- (f) 認知症疾患の方の地域ケア、処遇に関する研究
- (g) 新型コロナ感染症対策として、認知症患者やその医療従事者に有効な方法や処置に関する研究
(メンタルヘルス、リハビリなど幅広に及びます)

○助成金予算：

- ◇医学研究助成・・・500万円 + 300万円（コロナ特別枠として(g)の対象範囲）
- ◇海外派遣助成・・・40万円（2件）

○応募・選考件数（金額）：※詳細は別紙に記載

令和3年6月10日、選考委員による選考の結果、助成対象6件を決定、同日理事会で承認。

	医学研究	海外派遣	合計
--	------	------	----

予 算	800 万円	40 万円	540 万円
応募件数	9 件	0 件	9 件
選考件数 (金額)	6 件 (840 万円)	0 件 (万円)	6 件 (840 万円)

○助成金贈呈：

贈呈式はコロナ感染拡大防止のため中止、郵送にて表彰状を授与

2. 普及啓発事業

(1) 認知症講演会開催

コロナ感染防止対策のため中止

以上

事業報告書の附属明細書

別紙1. 令和3年度助成金の贈呈者・金額・研究内容の詳細を別紙添付。

(別紙1)

所属機関 / 教室	助成
/ 学部 / 職名	金額
申請者氏名 / フリガナ	(万
	円)
+	

大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション学部	理学療法 学専攻 講師	認知症患者の視空間認知障害を模倣したコンテンツによる姿勢制御への干渉効果の解明と、認知症予防標的としての前頭前野領域の提唱	120
大籠 友博	オオゴモリ トモヒロ		
大阪大学医学部 付属病院 医療技術部 リハビリテーション部	神経科・精神科所属 作業療法士	カメラを用いた非訪問型の居住環境および生活機能評価ツールの開発 ～COVID-19 下における認知症者の継続的な生活支援に向けて～	120
石丸 大貴	イシマル ダイキ		
大阪大学大学院 連合小児発達学 研究科	寄附講座 講師	意味性認知症患者の家族介護者に対する遠隔システムを活用した心理疾患教育に関する研究	100
鈴木 麻希	スズキ マキ		
大阪大学大学院 医学系研究科	神経内科学 特任助教	嗅球の遺伝子発現解析を用いたレビー小体病発症機構の解明	200
小河 浩太郎	オガワ コウタロウ		
大阪市立大学大学院 医学研究科	脳神経内科学 講師	認知症高齢者における不安症状とBPSDとの関連の検討	100
武田 景敏	タケダ アキトシ		
大阪医科薬科大学 薬学部	薬物治療学Ⅱ研究室 講師	脳内炎症とアミロイド病理に着目したアルツハイマー病の早期診断バイオマーカーの開発	200
柳田 寛太	ヤナギダ カンタ		
			840

